

# 原子力災害被災地における農業再生と風評被害払拭のための教育研究

## Education and research for rehabilitation of agriculture against harmful rumors in nuclear disaster areas

\*溝口 勝<sup>1</sup>

\*Masaru Mizoguchi<sup>1</sup>

1. 東京大学大学院農学生命科学研究科

1. Graduate school of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

2011年の東日本震災以来、さまざまな大学が学生を現場に連れて行き、そこから現場ニーズを拾うことの重要性を気づかせる教育プログラムを実施している。本セッションコンビーナもまた、原発事故の3か月後から福島県飯舘村に赴き、NPO法人や農家と協働で独自の農地除染法を開発し作物の試験栽培をしてきた。また、2012年から学生の現場見学会を実施して現地訪問前後における学生の意識の変化を目の当たりにしてきた。こうした経験を通して、福島の農業復興には放射能汚染地というハンデにめげずに新しい日本型農業の創設にチャレンジする若者を育成することが必要であるとの考えに至り、2018年度から【大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業】（文部科学省）で「飯舘村における農業再生と風評被害払拭のための教育研究プログラム」を実施している。本セッションではこのプログラムに参加している土壌物理学関係者に呼びかけ、現場教育やフィールド研究を通して観察された学生の意識の変化について報告してもらい、大学の社会的価値のあり方について議論する。

キーワード：原子力災害、農業再生、風評被害払拭

Keywords: nuclear disaster, agriculture reborn, against harmful rumor